

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	スピーチロックの廃止に向け標語やポスターの掲示をしているが、掲示期間中は気を付けている様子が見られるが、標語の内容が変わると意識が薄れてしまう。	スピーチロック及び身体拘束の本質を理解し “使ってはいけない言葉”として認識するのではなく”なぜ身体拘束になるのか”を考えた声かけ介護ができるようになる。	年1回の勉強会の実施 標語掲示の継続	12ヶ月
2	44 (19)	野菜の皮むきや食事の配膳、後片付け等はお手伝いしていただいているが、献立は職員が考えているため、利用者の自主性にかけ能力を生かし切れていないことがある。	献立を考えるとところから利用者にも参加してもらえるようにする	日々の行動や会話からもその人それぞれの生活歴や残存機能を把握し、出来る方にはできることをしてもらおうよう職員が意識する、認知症を理解するために研修や資格取得を奨励する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。